



# 石油コンビナート等における自衛防災組織の技能コンテストの取り組みについて

東ソー株式会社 南陽事業所 自衛防災組織

「令和7年度 石油コンビナート等における自衛防災組織の技能コンテスト」において、東ソー株式会社南陽事業所自衛防災組織が名誉ある最優秀賞を受賞することが出来ました。

今回で2度目の最優秀賞受賞になりますが、平成28年に受賞した後は、8年間で7回出場し、入賞をいただくことは出来るものの、最優秀賞の獲得には至りませんでした。この様な状況の中でも、周南市消防本部から熱心なご支援ご指導をいただいたおかげで、あきらめずに技術の向上に努めることができました。この結果が、2度目の最優秀賞につながったことは間違いなく、全面的にご協力いただいた周南市消防本部に対しまして、深く感謝申し上げます。

本稿では、技能コンテストへの出場に向け、主体的に取り組んだ内容についてご紹介させていただきます。

## 1. 東ソー株式会社南陽事業所自衛防災組織の概要

東ソー株式会社南陽事業所自衛防災組織は、昭和51年6月に施行された石油コンビナート等災害防止法(以下、石災法)に基づき特別防災区域として指定された周南地区内にある東ソー株式会社南陽事業所及びその周辺区域の災害及び被害の拡大を防止するため設置された自衛防災組織です。

東ソー株式会社南陽事業所内には数多くの製品の取り扱いと500を超える危険物施設が設置されており、また、グループ会社とも合同事業所を形成しているため、通報訓練や各部署との定期的な合同訓練を数多く繰り返し行うことで、迅速かつ確実な対応が行えるように、高いレベルでの防災体制の構築を目指しています。

## 2. 「石油コンビナート等における自衛防災組織の技能コンテスト」について

石油コンビナート等では、ひとたび災害が発生すれば被害が甚大なものとなることから、事業所に防災要員や消防車両等を備えた自衛防災組織が置かれています。

消防庁では、自衛防災組織の技能及び士気を向上させ、石油コンビナートの防災力を強化することを目的に平成26年度から技能コンテストを実施しています。

東ソー株式会社南陽事業所自衛防災組織は、平成28年度から車両のオーバーホールを行った令和3年を除き毎年出場しています。

最優秀賞：平成28年、令和7年

優秀賞：平成29年

奨励賞：平成30年～令和6年(令和3年を除く)

## 3. 技能コンテスト概要

### (1) 競技の目的

危険物施設等の火災に対する高所からの泡放水を想定した競技であり、石油コンビナート等における自衛防災組織の技能及び士気の向上をもって石油コンビナート等の防災体制の充実強化を図ることです。

### (2) 出場資格

大型化学高所放水車及び泡原液搬送車又は高所放水車及び化学消防車を保有する自衛防災組織及び共同防災組織とし、管轄消防本部からの推薦が必要となっています。

### (3) 使用車両

東ソー株式会社南陽事業所内に配備する大型高所放水車及び大型化学消防車を使用しました。



前方：大型高所放水車 後方：大型化学消防車

(4) 競技実施隊員（大型高所放水車及び大型化学消防車）

指揮：中隊長

大型高所放水車小隊：小隊長、機関員

大型化学消防車小隊：小隊長、機関員、1番員、2番員 の合計7名による競技



(5) 現地審査（出場組織は全国から35組織が出場）

今年度（令和7年度）から審査方法が原則オンライン審査（オンライン審査が実施できない場合又は消防庁特殊災害室が指定した場合は現地審査）になりましたが、東ソー南陽事業所内は通信状況等の関係から現地審査でお願いしました。

審査は令和7年8月～10月にわたり実施され、当防災組織は令和7年9月25日に行われました。



(6) 最終審査

現地審査及びビデオの競技映像とともに最終審査が行われ、迅速性において、当防災組織では過去にない最速の結果となり、各活動においても減点ゼロと評価されました。

#### (7) 総務大臣賞表彰式

令和7年12月12日(金)に中央合同庁舎第二号館(総務省)において、総務大臣賞表彰式が開催され、総務大臣賞を受賞した優秀賞4組織及び奨励賞を受賞した1組織とともに参加し、消防庁長官より表彰状と盾をいただきました。

なお、当社四日市事業所が所属する四日市臨海地区特別防災区域 共同防災組織 共同霞隊が優秀賞(二位)となり、東ソーでW受賞という大変喜ばしい結果となりました。



総務省での表彰式

## 4. 現地審査までの経緯

### (1) 出場メンバーの選定

過去の参加回数を考慮して満遍なく選定しており、平均して3~4回参加している隊員が多いです。また、面談で参加希望を確認し、出場意欲がある隊員を優先しています。

今年度は、技術レベルの底上げとして、22歳の若手を初選出しています。

### (2) 実動訓練の取り組み

4月頃から、月に4回程度の訓練を行い、周南市消防本部のアドバイスを元に行動審査項目での減点が多くみられる項目を参考に「安全管理・正確な操作・士気規律」など確実にできるよう訓練を実施しました。また、訓練動画を見て修正、改善を行い、併せてタイム短縮に繋がるよう一つひとつの行動を迅速にできるように繰り返し訓練を行って審査に臨みました。

## 5. 今後に向けて

コンテストに参加することで防災技術の向上はもとより、隊員間のコミュニケーションの向上に伴う連携強化につながっていると感じます。

本受賞を励みに、自衛防災組織のさらなる充実強化を図り、地域住民の皆様が安心して暮らすことができる安全な地域社会の実現に邁進してまいります。

最後に、今回のコンテスト出場にあたり、ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。



周南市長へ受賞報告の記念撮影